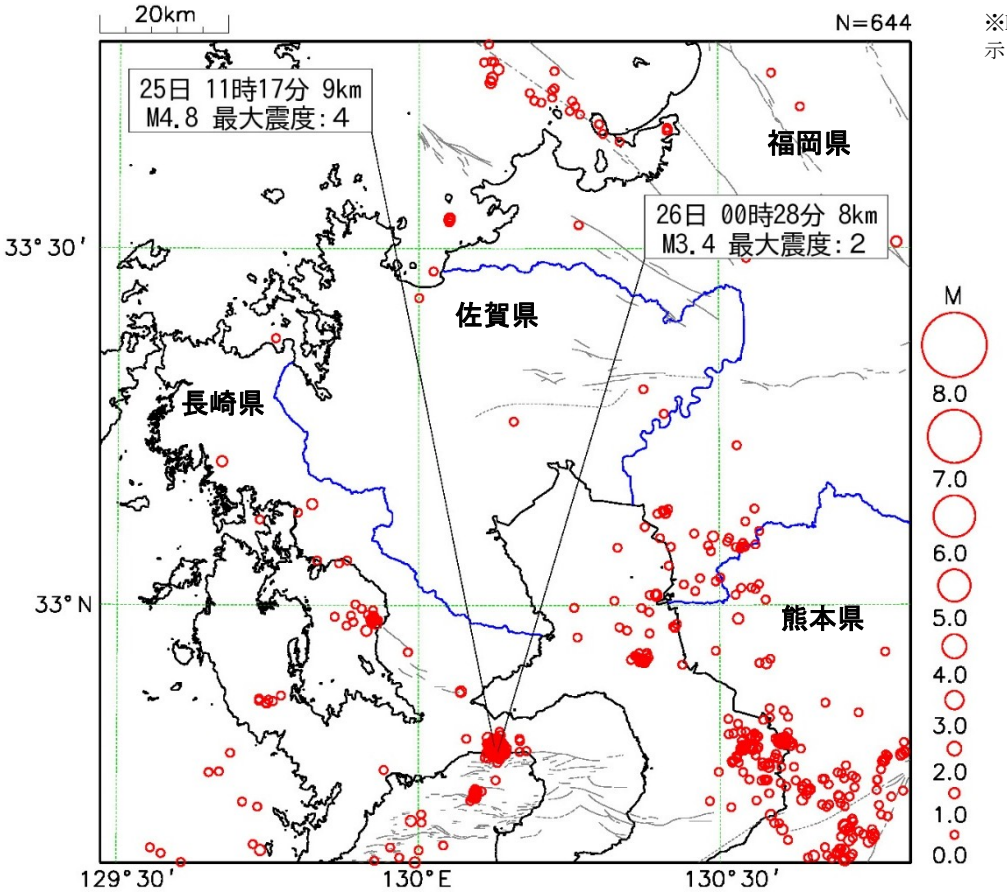
佐賀県の地震活動概況（2025 年７月）

令和７年８月 13 日
佐 賀 地 方 気 象 台

【７月の地震活動概況】

７月に佐賀県内で震度１以上を観測した地震は３回（下図領域外を含む）でした（６月は０回）。



※N は領域内の地震数を示しています。以下同じ。

図１　震央分布図（2025 年７月１日～31 日、深さ 30km 以浅、M≧0.0）
灰色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

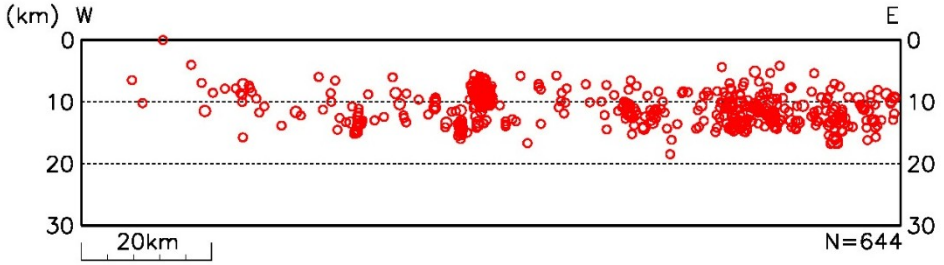


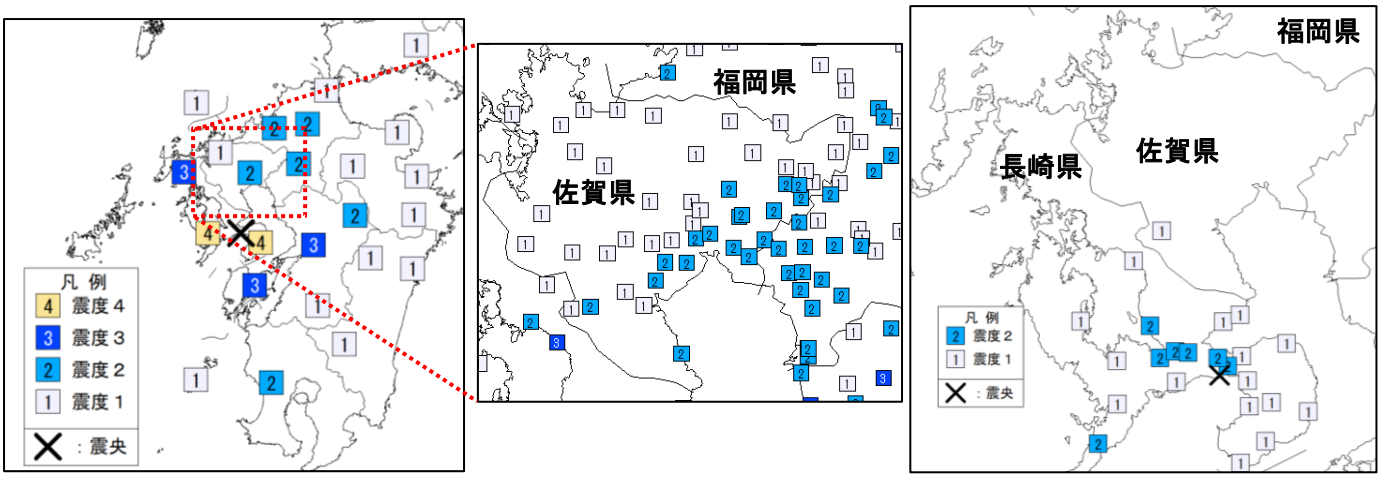
図２　断面図（2025 年７月１日～31 日、深さ 30km 以浅）
震央分布図を南の方から見た断面図です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

長崎県南西部・橘湾

25 日 11 時 17 分に長崎県南西部で M4.8 の地震（深さ９km）が発生し、長崎県の諫早市、雲仙市で震度４を観測したほか、九州地方、中国地方で震度３～１を観測しました。佐賀県では、佐賀市、小城市、嬉野市、神埼市などで震度２、県内各地で震度１を観測しました。また、26 日 00 時 28 分に橘湾（情報発表は長崎県南西部）で M3.4 の地震（深さ８km）が発生し、長崎県長崎市などで震度２を観測したほか、佐賀県、長崎県で震度１を観測しました。佐賀県では、嬉野市で震度１を観測しました（図３、表１）。

今回の地震の震央付近（図４領域 a）では、2017 年６月９日に M4.3 の地震（深さ 16 km、最大震度４）が発生し、佐賀県では、白石町で震度２を観測したほか、広い範囲で震度１を観測しました（図４～５）。



25 日 11 時 17 分　M4.8
（左図は地域別、右図は観測点別）

26 日 00 時 28 分　M3.4
（観測点別）

図３　震度分布図

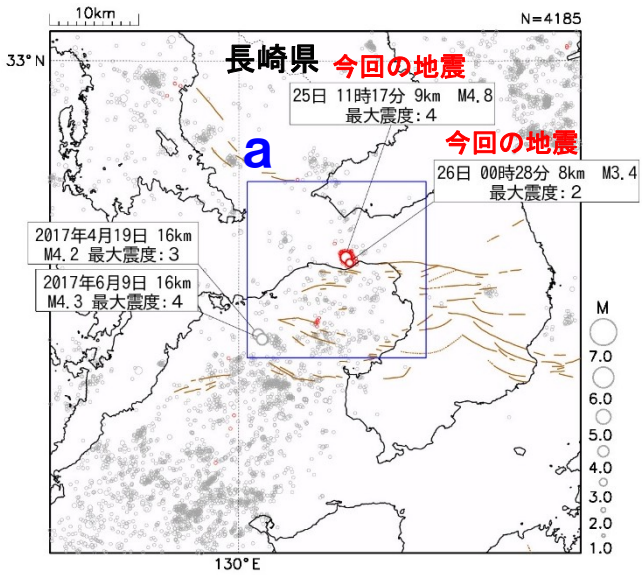


図４　震央分布図
（2000 年 10 月１日～2025 年７月 31 日、
深さ０～20km　M≧1.0）
※2025 年７月１日以降の地震を赤色で表示

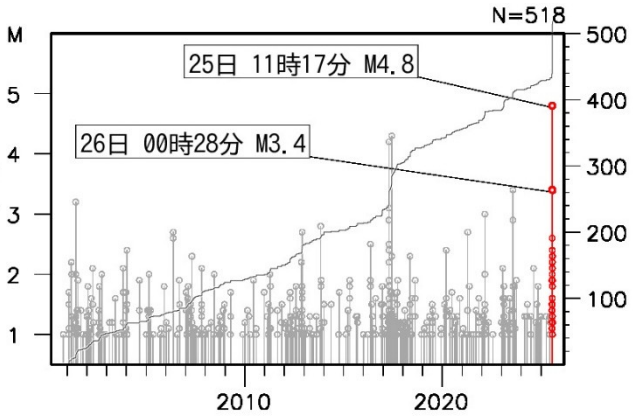


図５　図４領域 a の地震活動経過図
および回数積算図

ロシア、カムチャツカ半島東方沖（情報発表に用いた震央地名は[カムチャツカ半島付近]）（１頁震央分布図領域外）

30 日 08 時 24 分（日本時間）にロシア、カムチャツカ半島東方沖の深さ 35 kmで Mw8.8 の地震（震源要素は米国地質調査所（USGS）による。ただし Mw は気象庁による）が発生し、北海道釧路市などで震度２を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度１を観測しました。佐賀県では、佐賀市と神埼市で震度１を観測しました（図６、表１）。

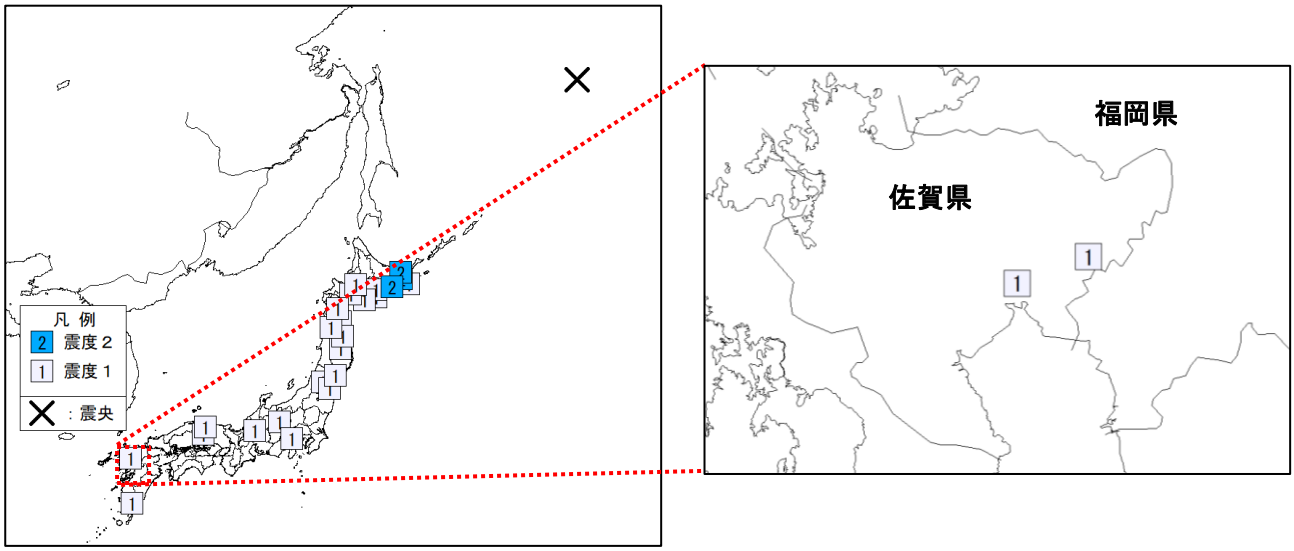


図６　震度分布図　30 日 08 時 24 分　Mw8.8（震源要素は米国地質調査所（USGS）による。ただし Mw は気象庁による）
（左図は地域別、右図は観測点別）

表１　佐賀県内の震度観測点で震度１以上を観測した地震（2025 年７月１日～31 日）

地震発生日時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
07 月 25 日 11 時 17 分	長崎県南西部	32°48.0’N	130°07.7’E	9km	M4.8
佐賀県　震度２：佐賀市駅前中央,佐賀市栄町＊,佐賀市大和＊,佐賀市東与賀＊,佐賀市久保田＊ 佐賀市諸富＊,佐賀市川副＊,上峰町坊所＊,白石町福田＊,白石町福富＊ 白石町有明＊,太良町多良,みやき町三根＊,小城市芦刈＊,嬉野市下宿乙＊ 吉野ヶ里町三田川＊,神埼市千代田＊					
震度１：唐津市西城内,唐津市竹木場＊,唐津市七山＊,唐津市北波多＊,唐津市肥前＊ 唐津市浜玉＊,唐津市相知＊,伊万里市立花町＊,有田町立部＊,佐賀市富士町＊ 佐賀市三瀬＊,鳥栖市宿町＊,多久市北多久町＊,武雄市山内＊,武雄市武雄町昭和＊ 武雄市北方＊,佐賀鹿島市納富分＊,基山町宮浦＊,大町町大町＊,江北町山口＊ みやき町中原＊,みやき町北茂安＊,小城市三日月＊,小城市小城＊,小城市牛津＊ 嬉野市不動山,嬉野市塩田＊,吉野ヶ里町東脊振＊,神埼市脊振＊				
07 月 26 日 00 時 28 分	橘湾	32°47.6’N	130°07.9’E	8km	M3.4
佐賀県　震度１：嬉野市下宿乙＊					
07 月 30 日 08 時 24 分	ﾛｼｱ、ｶﾑﾁｬﾂｶ半島東方沖	52°30.7’N	160°19.4’E	35km	Mw8.8
佐賀県　震度１：佐賀市久保田＊,神埼市千代田＊					

・「＊」の付いた地点は、佐賀県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。
・地震の震源要素（緯度・経度・深さ・M）は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

「防災の日」と「防災週間」
～いつかくる災害に備えて～

９月１日は「防災の日」、８月 30 日～９月５日は「防災週間」です。

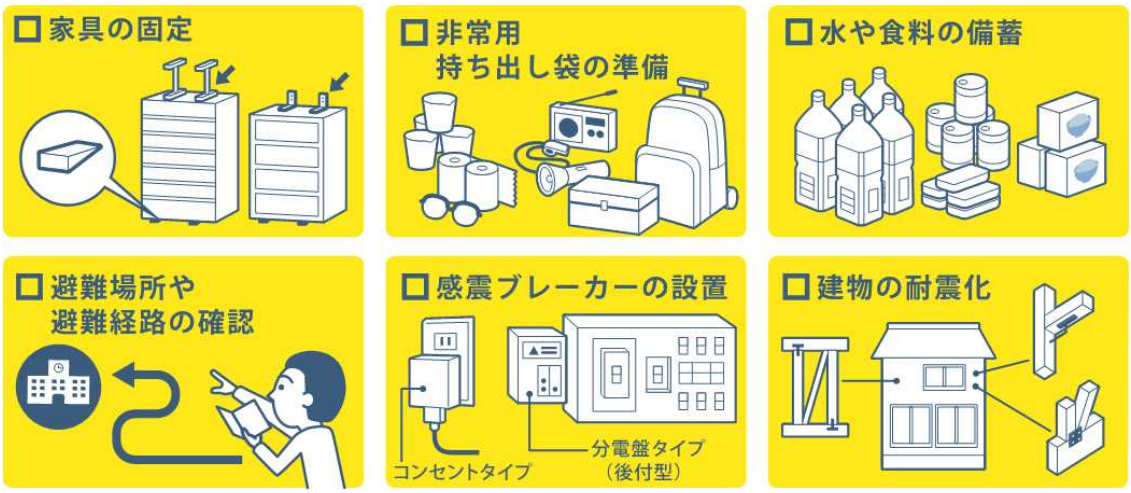
本期間は、国や防災関係機関をはじめ広く国民が、地震や津波等の災害についての認識を深め、これに対する備えを充実強化し、災害の未然防止と被害の軽減に資する目的で設けられています。

この機会に、身近で起こり得る災害を再確認するとともに、日頃からの備えや大きな地震が起こった時のとるべき行動を確認するようにしましょう。

○日頃からの備え

地震への日頃からの備えには、「家具の固定や配置の見直し」「水や食料等の備蓄」「避難場所や避難経路の確認」「建物の耐震診断や耐震化」などがあります。

自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう。



○とるべき行動

地震による強い揺れを感じた時や緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずに身の安全を図りましょう。具体的な行動は周囲の状況によって異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。

その他の行動例や緊急地震速報については気象庁のホームページをご覧ください。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/eew/koudou/koudou.html